

除細動器点検マニュアル

2008年9月17日

臨床工学部

1、外観点検

本体、パドルの汚れがないかチェックする。汚れがあった場合は清拭する。

2、備品点検

心電図モニターケーブル、使い捨てパドル、ペースト等の備品の確認をする。

3、漏れ電流測定試験

日本光電社製の LEE1011 にて漏れ電流を測定する。

1) 接地漏れ電流

正常状態、及び単一故障状態（電源導線の片側断線）にて測定し値を記入する。

2) 外装漏れ電流

除細動器本体背部の保護接地ピンに LEE1011 ワニグチコードを接続し、正常状態、及び単一故障状態にて測定する。単一故障状態においては電源導線の片側断線及び保護接地線の断線のどちらか高い値を記入する。

3) 患者漏れ電流 I

除細動器の電極に LEE1011 ワニグチコードを接続し、正常状態、及び単一故障状態にて測定する。単一故障状態においては電源導線の片側断線及び保護接地線の断線のどちらか高い値を記入する。

4、性能試験

性能試験においては FLUKE 社の QED-6 を用いた性能試験を行う。

1) 出力測定

QED-6 Main Menu 1 の ENRG ボタンを押す。

50J、200J、360J の3段階のエネルギー出力測定を行う。

手術室の除細動器においては 10J での測定も行う。

QED-6 のフロントパネルにある接触電極の 2 つの除細動器パドルを同時に押し付ける。

除細動器の設定を上記項目のエネルギーに設定し充電、完了後に放電を行う。

放電後 QED-6 に表示される数字を記入する。（設定値 ± 4 J または $\pm 15\%$ ）

2) 同期測定

心電図リードを QED-6 に接続する。心電図が除細動器に表示されることを確認する。

Main Menu 1 の SYNC ボタンを押す。

除細動器の設定を 200J にして充電する。

同期ボタンを ON にする。

QED-6 のフロントパネルにある接触電極の 2 つの除細動器パドルを同時に押し付ける。

放電後、QED-6 のフロントパネルの R wave の値を記入する。（60ms 以内）